

昨年度の総会報告

平成八年度の総会は、八月十一日(日)午後五時より、一宮平安殿にて開催されました。会は、傍島章介副会長による開会の言葉によって始まり、山内進会長のあいさつ、母校を代表しての岩田隆教頭先生のごあいさつを経て、来賓を代表して加藤十八先生からもごあいさつをいただきました。その後、議事に移り、平成七年度の事業報告と会計報告がなされ、ともに承認されました。ついで役員選出にはいりましたが、母校教職員の人事異動に伴って、書記を前教頭の浜家正兵先生から新教頭の大嶋浩先生に変更し、あとは現行のままとするという、事務局からの提案が承認されました。引き続き、平成八年度の事業計画と予算案が審議され承認を受けました。

今回の総会には、ご多忙にもかかわらず旧職員十二名、現職員十五名の先生方に出席していただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。また一般会員については、別項にありますように、全日制第十一回卒業生が総会の中で学年同窓会を企画したこともあって、出席者は全部で一六名を数えました。

総会後半の懇親会は、会場を別室に移し、小川健一副会長の言葉とともに始まりました。柘植敬一郎先生の乾杯のご発声により出席者は会食に移り、一瞬にして会場はなごやかな雰囲気になりました。途中、学校紹介ビデオの上映もあり、母校の現在の姿に自分たちの高校時代を重ね合わせて、往時をなつかし



学年同窓会を 振り返り

十一回生 平松雅夫

「久しぶり、二十年ぶりだね。」の言葉が、会場のあちらこちらで聞かれた十一回生学年同窓会が、西高校総会の会場をお借りして盛大におこなわれました。

同窓会役員会では、総会の参加者を増

やす方策として、卒業二十年目を迎える学年の同窓会を支援して往復はがきの発送や総会後の会場を提供することを決定しました。

これを受け、西高の同窓会事務局に所属している私は、学年幹事の方と相談をし、学年同窓会を企画することになりました。

はがきへの一言通信、返信はがきの投函がない人への電話勧誘といった手間のかかる準備の多くは、女性の幹事の方々の好意で着々と事が進みました。

会では、懐かしい顔の人たちが、一〇三名も集い、それぞれに二十年の時を振り返り、高校時代の思い出を無邪気に語り合いました。また、矢内、木全、斉藤先生といった恩師の方々にも駆け付けていただき、会を一層盛り上げていただきました。

当初、総会との抱き合わせの会となっているために不満に思う人がいるのではないかと心配していましたが、そんな事よりも、会を企画したことへの感謝の声の方が多く聞かれ、胸のつかえもなくなりました。

二次会では、矢内、斉藤の両名の恩師をはじめ、八十名程の参加者を得ることができ、楽しい一時を過ごすことができました。

この会を通して、再会の悦びと共に、社会人として立派に活躍している友人たちの姿を見ることができ、自分の人生をも振り返ることができ、良い機会を得ました。

五年、十年後にも、この会を是非企画

して同期生との再会を果たしたいと思えます。



郵送料についてのご案内

昨年度は約二十五万円のカンパをいただきました。ありがとうございました。今年度も引き続き、同窓会報等、郵送料のカンパをお願いいたく存じます。一口一、〇〇〇円で同封の振り込み用紙を御利用下さい。

同窓会名簿についての御案内

本校同窓会名簿の依頼業者は「関西廣濟堂」です。これ以外の業者は本校同窓会とは一切、関係ありません。なお、次回同窓会名簿の刊行は、来年(平成十年度)を予定しております。

昨年度の総会報告

平成八年度の総会は、八月十一日(日)午後五時より、一宮平安殿にて開催されました。会は、傍島章介副会長による開会の言葉によって始まり、山内進会長のあいさつ、母校を代表しての岩田隆教頭先生のごあいさつを経て、来賓を代表して加藤十八先生からもごあいさつをいただきました。その後、議事に移り、平成七年度の事業報告と会計報告がなされ、ともに承認されました。ついで役員選出にはいりましたが、母校教職員の人事異動に伴って、書記を前教頭の浜家正兵先生から新教頭の大嶋浩先生に変更し、あとは現行のままとするという、事務局からの提案が承認されました。引き続き、平成八年度の事業計画と予算案が審議され承認を受けました。

今回の総会には、ご多忙にもかかわらず旧職員十二名、現職員十五名の先生方に出席していただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。また一般会員については、別項にありますように、全日制第十一回卒業生が総会の中で学年同窓会を企画したこともあって、出席者は全部で一六名を数えました。

総会後半の懇親会は、会場を別室に移し、小川健一副会長の開会の言葉とともに始まりました。柘植敬一郎先生の乾杯のご発声により出席者は会食に移り、一瞬にして会場はなごやかな雰囲気になりました。途中、学校紹介ビデオの上映もあり、母校の現在の姿に自分たちの高校時代を重ね合わせて、往時をなつかし



学年同窓会を 振り返り

十一回生 平松雅夫

「久しぶり、二十年ぶりだね。」の言葉が、会場のあちらこちらで聞かれた十一回生学年同窓会が、西高校総会の会場をお借りして盛大におこなわれました。同窓会役員会では、総会の参加者を増

やす方策として、卒業二十年目を迎える学年の同窓会を支援して往復はがきの発送や総会後の会場を提供することを決定しました。

これを受け、西高の同窓会事務局に所属している私は、学年幹事の方と相談をし、学年同窓会を企画することになりました。

はがきへの一言通信、返信はがきの投函がない人への電話勧誘といった手間のかかる準備の多くは、女性の幹事の方々の好意で着々と事が進みました。

会では、懐かしい顔の人たちが、一〇三名も集い、それぞれに二十年の時を振り返り、高校時代の思い出を無邪気に語り合いました。また、矢内、木全、斉藤先生といった恩師の方々にも駆け付けていただき、会を一層盛り上げていただきました。

当初、総会との抱き合わせの会となっているために不満に思う人がいるのではないかと心配していましたが、そんな事よりも、会を企画したことへの感謝の声の方が多く聞かれ、胸のつかえもなくなりました。

二次会では、矢内、斉藤の両名の恩師をはじめ、八十名程の参加者を得ることができ、楽しい一時を過ごすことができました。

この会を通して、再会の喜びと共に、社会人として立派に活躍している友人たちの姿を見ることができ、自分の人生をも振り返ることができ、良い機会を得ました。五年、十年後にも、この会を是非企画



して同期生との再会を果たしたいと思えます。

郵送料についてお願い

昨年度は約二十五万円のカンパをいただきました。ありがとうございました。今年度も引き続き、同窓会報等、郵送料のカンパをお願いしたく存じます。一口一、〇〇〇円で同封の振り込み用紙を御利用下さい。

同窓会名簿についての御案内

本校同窓会名簿の依頼業者は「関西廣濟堂」です。これ以外の業者は本校同窓会とは一切、関係ありません。なお、次回同窓会名簿の刊行は、来年(平成十年度)を予定しております。